

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所 6 号機における  
発電機から微少な地絡を示す警報の発報に関する調査状況について

2026 年 3 月 18 日  
東京電力ホールディングス株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

当所 6 号機は、発電機から微少な地絡<sup>\*</sup>を示す警報が発報したため、3 月 14 日午後 0 時 30 分に、発電機を送電系統から切り離し（発電機解列）、詳細な原因調査を行っております。（3 月 15 日までにお知らせ済み）

現在までの調査により、地絡は発生しておらず、発電機と接地装置をつなぐ導体が破損したことで警報が発報したものと判断しております。引き続き、導体が破損した原因について、詳細調査を進め、調査結果がまとまり次第、今後の対応とともにあらためてお知らせいたします。

なお、破損した導体は発電機に関する設備であることから、原子炉安全に直接的に影響を与えるものではありません。また、現在、原子炉は起動中ですが、プラントパラメータに変動はなく、原子炉は安定した状態にあります。

※地絡：電気が本来の回路から地面へ漏れる現象

別紙：6 号機 発電機微少地絡継電器動作 警報発報に関する調査状況について

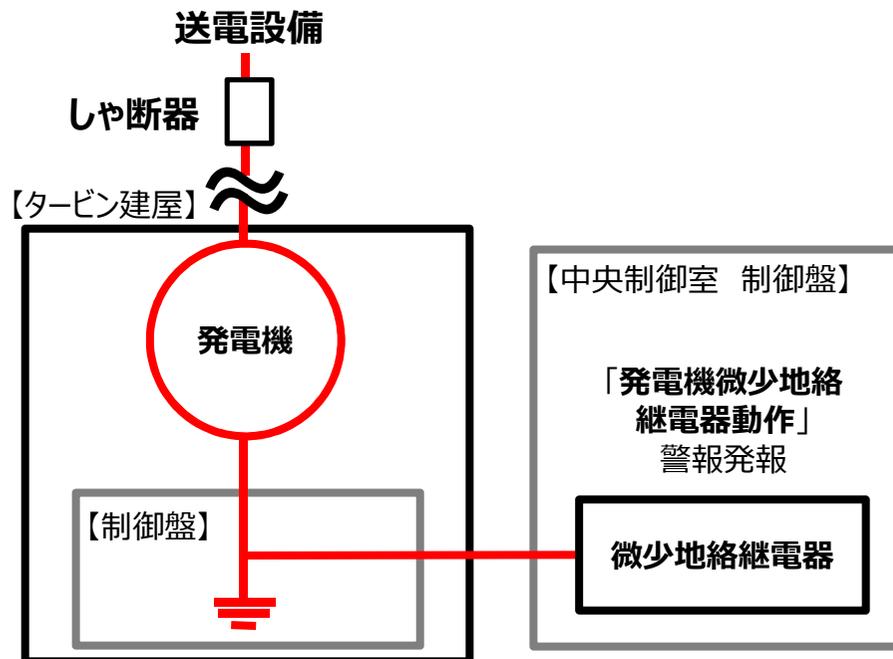
以 上

## 6号機 発電機微小地絡継電器動作 警報発報に関する調査状況について

## 【調査内容】

- 3月12日に発電機から微少な地絡（電気が本来の回路から地面へ漏れる現象）を示す警報が発報。プラントパラメータや発電機出力に有意な変動はないため、運転したまま調査をしたが原因特定に至らず
- 安全を確保したうえで、詳細調査を行うために、3月14日午後0時30分に発電機を解列  
(3月15日までにお知らせ済み)
- 発電機停止後に、発電機、制御盤の絶縁抵抗の測定※を実施  
※電気回路からの電気の漏れやすさを測定すること

## 【イメージ図】



## 【前回お知らせの実施済内容】発電機運転中の調査

タービン建屋と中央制御室制御盤で電圧・電流測定

- 発電機が運転中の調査では、原因特定には至らず

## 【今回の実施内容】発電機停止後の調査

各制御盤で絶縁抵抗測定

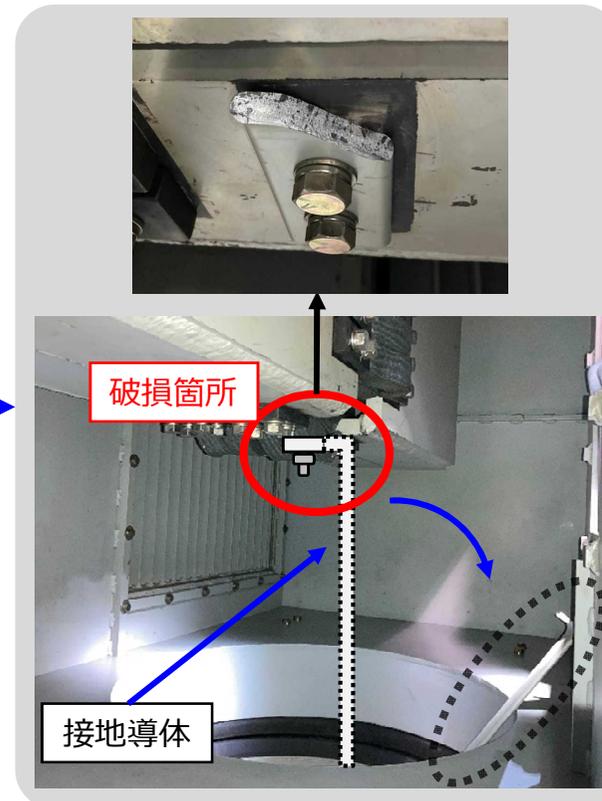
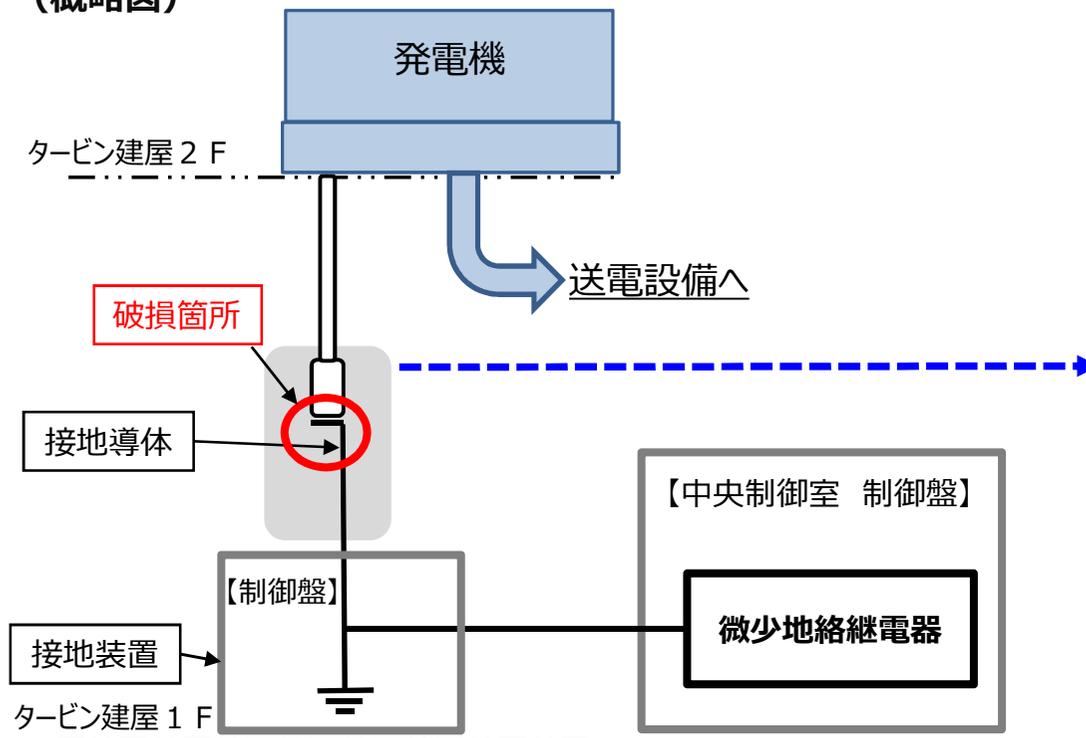
- 絶縁抵抗測定の結果、絶縁抵抗が低い箇所を確認

## 6号機 発電機微小地絡継電器動作 警報発報に関する調査状況について

### 【調査結果】

- 現場調査により、発電機と接地装置を繋ぐ導体（接地導体）に破損を確認
- これにより、接地導体への電流が流れなくなり、微小地絡継電器が動作し、警報が発報したもの（地絡は発生していない）
- 一方で、発電機や微小地絡継電器など、当該の接地導体以外の設備に異常が無いことも確認済み
- なお、破損した導体は、発電機に関する設備であることから、原子炉安全に直接的に影響を与えるものではない。また、プラントパラメータには変動がなく、原子炉は安定した状態
- 破損の詳細な原因については、現在調査中

### （概略図）



## (参考) 6号機 発電機微小地絡継電器動作 警報発報の仕組み

- 微小地絡継電器は、大きな地絡が発生する前に漏電している箇所がないかを知らせるため、地絡の兆候を早期に検知する目的で設置（警報のみ）
- 通常、微少な電流が流れており、接地線に流れる電流が減ったときに、当該の警報が発報
- 今回は、接地線につながる電路が破損したことで、接地線に電流が流れなくなり当該継電器が検知し、「発電機微小地絡継電器動作」警報が発報

